

コーリン建設株式会社 設立60周年記念誌

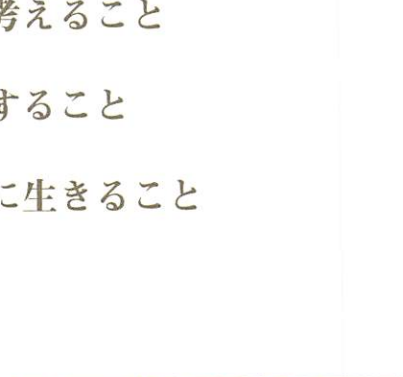
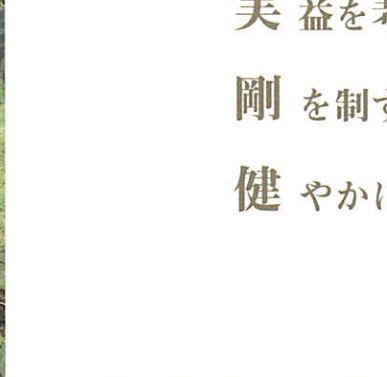
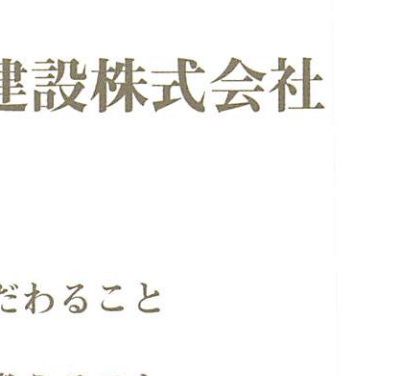
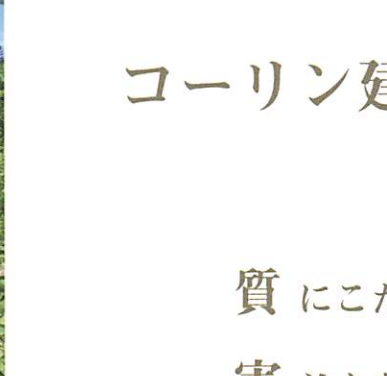
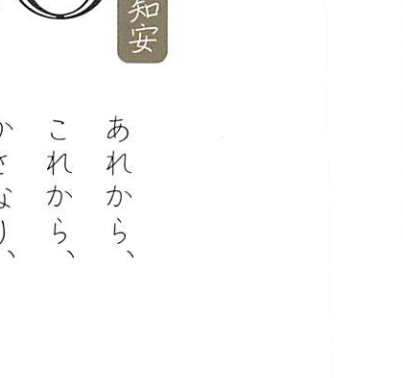


贈：徳丸 滋（ダケカンバ）

ダケカンバは厳しい風雪に耐えている陽樹で山火事や間伐の跡地に一斉に更新する。高さ25m太さ1mほどになる。



あれから、
これから、
かさなり、
60年



60年
かさなり、
これから、
あれから、

コーリン建設株式会社

質 にこだわること
実 益を考えると
剛 を制すること
健 やかに生きること



社長あいさつ

このたび、コーリン建設株式会社は創立60周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様の温かいご支援とご厚情の賜物であり、心より感謝申し上げます。

創業当初は、母が経営していたすずき洋品店の2階にある寒くて小さな事務所からのスタートでした。私は当時19歳で、毎日深夜まで書類整理に追われ、カネマタ食堂の蕎麦の香りに憧れながら仕事に励んでいたことを懐かしく思い出します。

大学卒業後は、家業を継ぐために札幌の老舗デパートで研修生として学びました。その後、札幌市内で芝生の吹付工事の会社を立ち上げ、さらに北海興林建設に入社し、現在に至ります。入社から47年、社長に就任して40年を迎えました。

振り返れば、当初は建設業に特別な興味を持っていたわけではありません。しかし、社員の皆様が未熟な私を支え、共に会社を育ててくれたことに、感謝の念に堪えません。おかげさまで、80歳を迎えた今も健康で、強運に恵まれているのかもしれない。

また、俱知安町議会議員として8期32年間、うち2期8年は議長を務めさせていただきました。社長不在の間も、社員の皆様が会社を支えてくださったことに、重ねて御礼申し上げます。

私の経営方針は、「利益は社会に還元すること、喜ばれる仕事をする事」です。社員は少数精鋭ではありますが、誇りを持って仕事に取り組んでいます。「一度の失敗は誰にでもあるが、二度同じ失敗は許されない」という信念を胸に、これからも邁進してまいります。

創立60周年の節目に際し、これまでのご支援に心より感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

コーリン建設株式会社 代表取締役

鈴木保昭

コーリン建設
株式会社
60年のあゆみ

1965 —————> 2025

沿革

昭和40年 3月	北海興林建設株式会社登記前 創業
昭和40年 3月	北海興林建設株式会社登記前 鈴木 光保 代表取締役に就任 新井田 孝氏 造林部長に就任
昭和41年 3月	北海興林建設株式会社設立登記 資本金125万円
昭和41年 3月	鈴木 光義氏 取締役に就任
昭和42年 3月	餅田 勲氏 取締役に就任
昭和42年 4月	倶知安建設業協会 入会
昭和46年 1月	増資 資本金250万円
昭和47年 12月	後志建設事業協会 入会
昭和50年 7月	相馬 正吉氏 常務取締役に就任
昭和51年 2月	新井田 孝氏 取締役に就任
昭和52年 7月	増資 資本金500万円
昭和53年 3月	鈴木 保昭 専務取締役に就任
昭和54年 4月	小樽建設協会 入会
昭和54年 7月	増資 資本金1,000万円
昭和58年 4月	特定建設業許可取得
昭和59年 8月	坂下 義則氏 造林部長に就任
昭和60年 10月	鈴木 光保 代表取締役会長に就任
昭和60年 10月	鈴木 保昭 代表取締役に就任
昭和63年 12月	増資 資本金2,000万円
平成 2年 11月	五百澤 俊三氏 常務取締役に就任
平成 3年 5月	坂下 義則氏 取締役に就任
平成 3年 7月	新社屋 完成
平成 5年 6月	創業者 代表取締役会長 鈴木 光保 永眠
平成 8年 11月	社名変更 北海興林建設株式会社から コーリン建設株式会社
平成10年 4月	富永 恭二氏 取締役に就任
平成11月 5月	中村 二郎氏 取締役に就任
平成16年 6月	小杉 正義氏 取締役に就任
令和 6年 6月	川村 順二氏 常務取締役に就任
令和 6年 4月	鈴木 保昭 旭日雙光章 叙勲





昭和20年 六郷駅前
 倶知安町大和事業区室野造林部ヨリ
 六郷駅土場へ搬出ノ榎ノ木
 径寸4尺有 長サ50尺 樹令400年



←すずき洋品店の2階に
 北海興林建設株式会社を
 設立。(昭和40年)

鈴木光保 創業物語



〈略 歴〉

大正7年2月16日

蘭越町昆布にて生れる

昭和18年～23年

地方木材株式会社倶知安出張所 勤務

昭和23年～35年

林業会法による協同組合常務理事に就任

昭和36年～38年

北海道パルプ山林部長に就任

昭和38年～40年

北海加工紙倶知安事業所長に就任

昭和40年～平成4年

北海興林建設株式会社設立 代表取締役就任

鈴木光保は大正7年（1918年）、北海道後志地方の昆布村に貧農の次男として生まれた。幼少期は厳しい自然と労働に囲まれた環境で育ち、家族を支えるため早くから働くことを求められる時代だった。

昭和9年（1934年）、高等小学校を卒業した光保は、家計を助けるため倶知安町にある老舗呉服店「カクイチ高橋呉服店」に丁稚奉公に出る。若干16歳にして社会へ踏み出し、持ち前の真面目さと勤勉さで頭角を現し、やがて番頭にまで昇格した。

その後、太平洋戦争により兵役に就き、昭和18年（1943年）には後志地区木材林産組合に勤務。戦後の復興期において林業の重要性が増す中で、地域の産業振興に尽力した。さらに林業会法に基づく後志地区林産協同組合において常務理事に就任し、経営の中枢を担うこととなる。



カクイチ高橋呉服店の頃



後志地区林産協同組合の頃

昭和36年（1961年）、北海道パルプ株式会社における山林部長に抜擢され、林産資源の有効活用を目指す。この時期には、ぬまがり竹からパルプを生産するという革新的な試みに挑戦。しかし、竹パルプからテーブル板を製品化する事業は困難を極め、結果的には失敗に終わった。

この挫折を乗り越え、昭和40年（1965年）には「北海興林建設株式会社」を設立し、代表取締役就任。造林事業（新井田孝部長）と土木事業（鈴木光義部長）を主軸に、官庁発注事業を中心とした堅実な経営を展開。地域社会に貢献し、その誠実な仕事ぶりは各方面から高い評価を受けた。

昭和60年（1985年）、鈴木保昭が社長に就任し、鈴木光保は取締役会長となる。その後も経営に対する情熱を持ち続け、緑化事業部と土木部に改編し、事業の多角化を進めた。平成3年（1991年）には新社屋が完成し、企業としての基盤を一層強化した。

特筆すべきは、会社の改革に対する光保の姿勢である。社屋ビルの新築や組織改編といった重要な決断においても、「お前に任せる」という一言で後継者を信頼し、大胆な変革を推進した。

平成5年（1993年）6月、鈴木光保は75歳でその生涯を閉じた。彼の志と誠実な経営姿勢は、次世代に引き継がれ、地域に根ざした企業として今日も発展を続けている。

光保の妻・ツル子もまた、会社の監査役としてのみならず、倶知安町でいちばんの洋装店を経営し、地域の女性たちを魅了した。夫婦で支え合いながら地域社会に貢献し、その足跡は今も深く刻まれている。



鈴木社長：コーリン建設は、今年で創業60周年を迎えました。こうして節目の年を迎えられるのも、社員の皆さん、そしてお客様、地域の皆様の支えがあってこそです。今日は、創業当時の話やこれからの未来について、皆さんと語り合いたいと思います。

さて、創業60年を引き算すると、私は当時20歳でまだ学生でしたから、正直なところ会社の立ち上げについての詳しい記憶はありません。ただ、親父は本当にまじめで堅実な人で、周りには営林署の職員がたくさんいて、いつもにぎやかでしたね。土木部門は叔父の鈴木光義が中心になって動かしていて、今の体制とそう大きくは変わっていません。

梅津さんは昭和60年に入社されましたね。実は私が面接をしたんです。公務員試験も受けていたそうで、「落ちたので入社します（笑）」なんて言っていたのですが、もう40年近く一緒に仕事をしてきました。今日は、その会社への想いをぜひ聞かせてください。

梅津部長：そうですね、あの頃を思い出すと懐かしいです。公務員試験に落ちて（笑）、ご縁があってコーリン建設に入社しま

した。当時は右も左もわからず、不安もありましたが、現場の先輩方に助けられながら一つ一つ学んできました。

特に印象深いのは、若い頃に任された大規模な現場です。責任の重さを感じながらも、仲間と協力してやり遂げた経験は、今でも私の原点になっています。会社の良さは、現場の一体感と風通しの良さだと思います。意見を言いやすく、挑戦を後押ししてくれる環境があるからこそ、ここまで続けられたのだと感じます。

鈴木社長：梅津さんのように長く会社を支えてくれる人がいることは、本当に心強いですね。緑化事業部の西口さんも、入社以来、環境への取り組みをリードしてきてくれました。今後の展望についてはいかがでしょうか？

西口部長：私たち緑化事業部では、単なる景観づくりではなく、地域社会に貢献できる環境整備を目指しています。木を植えると言っても、実際は地寄せ（じごしらえ）から始まり、苗の植え付け、下草刈り、ネズミの駆除、除伐など、急傾斜地での厳しい作業管理が求められます。

この仕事には、自然と向き合う

コーリン建設株式会社 代表取締役

鈴木保昭

覚悟と、細かな管理を怠らない責任感が必要です。現場での安全を最優先しつつ、環境を守り、次の世代に豊かな自然を引き継ぐ使命を常に胸に刻んでいます。また、若手社員の育成にも力を入れています。私が学んできたことを次の世代にしっかり伝え、未来を担う人材を育てていくことが、これからの使命だと考えています。

川村常務：確かに、次の世代を育てることは非常に重要です。60年の歴史の中で培った経験と技術を継承しつつ、新しい時代に合わせた変革も必要です。特に、私は会社全般を見ている立場として、入札業務には非常に気を遣っています。

公共工事を中心に、競争の激しい入札では適正な価格設定と品質の確保が求められます。透明性を保ちながら、確実に案件を獲得するために、常に最新の情報を把握し、戦略的に取り組んでいます。今後も、公正で誠実な姿勢を貫きながら、会社の成長に貢献していきたいと思っています。

私たち経営陣としても、社員一人ひとりが安心して働ける環境を整え、さらなる成長を目指していきたいと思っています。

鈴木社長：皆さんのお話を聞いて、改めて多くの方々に支えられてきたことを実感しました。創業当時の精神を大切にしながら、新しいことにも挑戦していく。これからも社員とともに未来を築いていきたいと思っています。最後に、これからのコーリン建設への想いを一言ずついただけますか？

梅津部長：これからも現場第一主義を貫き、地域に信頼される仕事を続けていきます。

西口部長：環境への貢献を忘れず、次の世代に誇れる事業を展開していきます。

川村常務：社員一人ひとりが誇りを持って働ける会社づくりを進めていきます。

鈴木社長：皆さん、ありがとうございます。創業70周年、80周年に向けて、これからも力を合わせて頑張りましょう！



常務取締役

川村 順二氏



緑化事業部長

西口 俊也氏



工事部長

梅津 秀樹氏



川村 順二
西口 俊也
梅津 秀樹



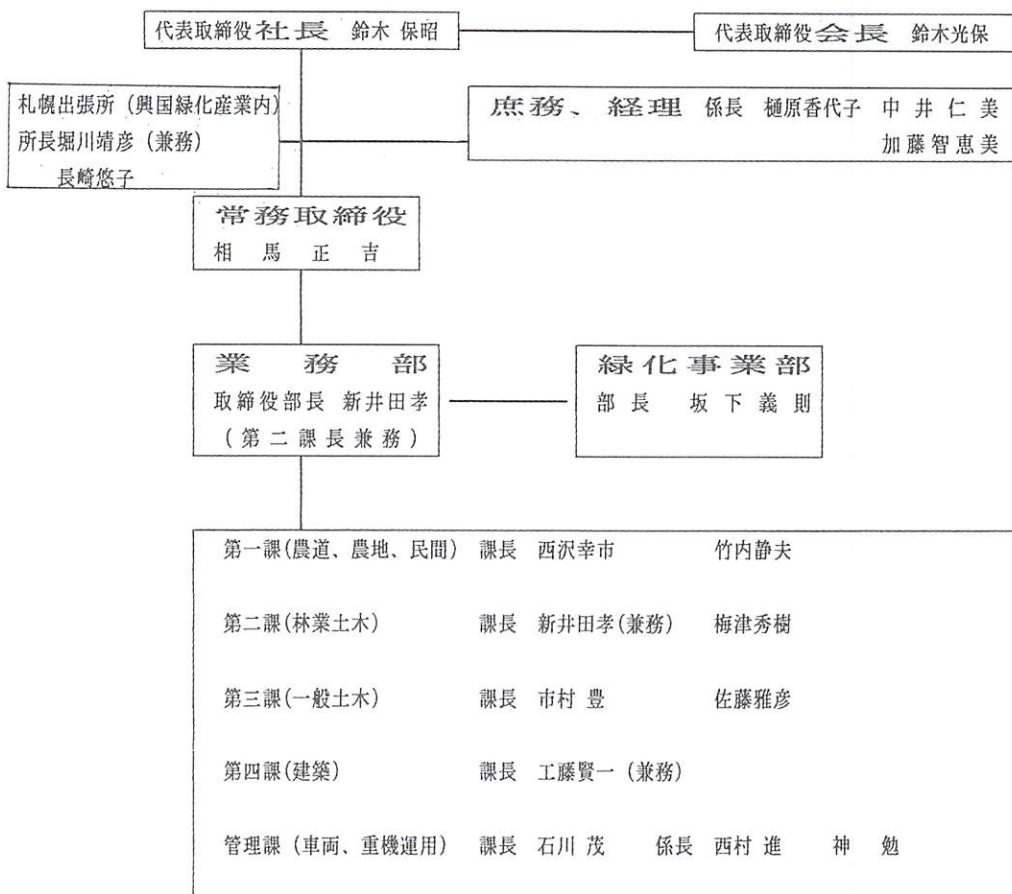
表彰一覧

表 彰 日	表 彰 者	表 彰 内 容
昭和56年12月7日	ニセコ町道営能動整備事業竣工祝賀会実行委員長 ニセコ町長 遠藤 京作	【感謝状】福井地区道営農免農道整備事業施工
昭和59年10月1日	社団法人北海道安全運転管理者協議会 会長 赤井 醇	【感謝状】安全委運転管理無事故成績
昭和59年11月6日	大谷地地区道営圃場整備事業期成会 会長 山本 博	【感謝状】大谷地地区道営圃場整備事業施工
昭和61年2月20日	函館営林支局長 伊藤 信郎	【感謝状】昭和60年度治山・林道工事コンクール優秀賞 (ペーペナイ川(盤の沢)治山新設工事)
昭和62年11月13日	道営圃場整備事業倶知安北部地区竣功式祝賀会協賛会会長 倶知安土地改良区理事長 西 春雄	【感謝状】道営圃場整備事業倶知安北部地区施工
昭和62年12月10日	札幌方面倶知安地区安全運転管理者協議会 会長 中井 宏治	【感謝状】倶知安地区安全運転管理者協議会創立20周年 記念行事寄与
昭和63年3月10日	函館営林支局長 池崎 喜八郎	【感謝状】昭和62年度造林事業優秀賞
昭和63年11月4日	道営圃場整備事業倶知安西部地区竣功式祝賀会協賛会会長 倶知安土地改良区理事長 西 春雄	【感謝状】道営圃場整備事業倶知安西部地区施工
平成元年9月28日	倶知安町長 宮下 雄一郎	【感謝状】倶知安町公共下水道工事施工
平成5年2月26日	北海道公共職業安定協会 岩内支部長 佐々木 二郎	【感謝状】職業安定行政の貢献、模範
平成6年3月31日	陸上自衛隊倶知安駐屯地曾友会 会長 村上 規男	【感謝状】陸上自衛隊駐屯地緑化事業貢献
平成6年4月14日	北海道森林基金推進会議 会長 北海道知事 横路 孝弘	【感謝状】国土緑化の推進貢献
平成6年11月27日	北海道札幌方面倶知安警察署長 警視 小山 亘	【感謝状】警察活動の推進貢献
平成7年6月6日	倶知安地区安全運転管理者協議会 会長 中井 宏治 札幌方面倶知安警察署長 警視 村上 久平	【感謝状】交通安全対策推進貢献
平成7年7月7日	函館営林支局長 大坪 貞保	【感謝状】北海道南西沖地震災害復旧工事施工
平成7年12月16日	倶知安神社鎮座百年記念事業奉賛会会長 武内 一男 倶知安神社運営奉賛会会長 千葉 就男 倶知安神社宮司 尾形 清雄	【感謝状】倶知安神社鎮座百年記念事業奉加
平成10年5月29日	社団法人 北海道建設業協会 会長 伊藤 義郎	【感謝状】小樽建設協会役員功績
平成11年6月25日	倶知安観光協会 会長 中井 宏治	【感謝状】創立50周年記念事業協賛
平成17年2月8日	林野庁長官 前田 直登	【感謝状】国有林野事業推進
平成16年2月19日	北海道森林管理局 函館分局長 西堀 稔	【感謝状】大平川西の沢線林道災害復旧工事施工
平成17年3月17日	全国国有林造林生産業連絡協議会 会長 高橋 勲	【感謝状】国有林造林請負事業推進
平成17年5月30日	社団法人全国建設業協会 会長 前田 靖治	【感謝状】業界発展功績
平成19年5月23日	北海道知事 高橋 はるみ	【感謝状】北海道民有林治山・林道工事コンクール優秀賞
平成21年3月6日	全国国有林造林生産業連絡協議会 会長 高山 光男	【感謝状】緑化事業推進貢献
平成22年12月16日	北海道知事 高橋 はるみ	【感謝状】森林土木事業推進貢献

表彰日	表彰者	表彰内容
平成23年5月19日	林野庁長官 皆川 芳嗣	【感謝状】 国有林造林事業及び国有林素材生産事業発展貢献
平成23年11月21日	島牧漁業協同組合 代表理事組合長 濱野 勝男	【感謝状】 環境保全貢献
平成24年5月16日	北海道森林管理局長 津元 頼光	【感謝状】 地域の林業の発展貢献
平成27年11月8日	倶知安神社鎮座百二十年記念事業奉賛会会長 藤田 孝和 倶知安神社運営奉賛会会長 木村 征二 倶知安神社宮司 尾形 知麿	【感謝状】 倶知安神社鎮座百二十年記念事業奉加
平成29年10月15日	北部方面総監 陸将 田浦 正人	【感謝状】 倶知安町自衛隊協力会充実発展貢献
平成30年12月5日	北海道知事 高橋 はるみ	【感謝状】 北海道社会貢献賞
平成30年12月18日	北海道知事 高橋 はるみ	【感謝状】 北海道産業貢献賞
平成31年3月13日	北海道後志総合振興局長 勝木 雅嗣	【感謝状】 入船地区小規模治山工事（ゼロ道債）施工
令和元年5月9日	一般社団法人北海道森林土木建設業協会 会長 幌村 司	【感謝状】 森林土木事業優秀技術者
令和4年3月2日	北海道後志総合振興局長 天沼 宇雄	【感謝状】 林業専用道（規格相当）五十一林班線開設工事施工



北海興林建設株式会社組織図 〈昭和63年当時〉



新社屋建設に係る工事請負契約書



工事請負契約書

発注者 北海興林建設株式会社 と
請負者 横関建設工業株式会社 とは
(工事名) 北海興林建設株式会社社屋新築 工事

の施工について、つぎの条項と添付の工事請負契約約款、設計図 39 枚、仕様書
1 冊とにもとづいて、工事請負契約を結ぶ。

俱知安町南2条東2丁目1-50

1. 工事場所 俱知安町南1条東2丁目4-7

2. 工期 着手 平成 2 年 10 月 16 日

契約の日から 日以内

完成 平成 3 年 6 月 30 日

着手の日から 日以内

3. 引渡の時期 完成の日から 14 日以内

4. 請負代金額 金 83,430,000 円也

うち 工事価格 (取引に係る消費税額を除く額) 金 81,000,000 円也

取引に係る消費税額 金 2,430,000 円也

(注) 「取引に係る消費税額」は消費税法第 28 条第 1 項及び第 29 条の規定により算出したもので、請負代金額に 3/103 を乗じて得た額とする。

5. 請負代金の支払 前払 契約成立の時に 金 12,360,000 円也

部分払 平成 3 年 4 月 金 13,390,000 円也

平成 3 年 5 月 金 25,750,000 円也

支払請求締切日

完成引渡の時に 金 31,930,000 円也

追加 5,000 円後の仕様です

当時はこんな価格で建てられたのですね

現在の相場は350,000,000円程度です。



高度経済成長を彷彿とさせる
古き良き時代の社員旅行の様子



社員旅行の定番は沖縄やグアム





60 年 か さ こ れ あ
年 年 な れ か ら
、 り 、 ら 、

KORIN



コーリン建設株式会社

〒044-0011 北海道虻田郡倶知安町南1条東2丁目

TEL0136-22-0304 FAX0136-23-3001